



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月29日

上場会社名 山崎製パン株式会社
コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	919,593	8.7	38,785	39.2	41,296	34.0	26,806	42.1
2023年12月期第3四半期	846,225	6.8	27,868	73.9	30,826	55.3	18,868	89.7

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 28,992百万円 (4.1%) 2023年12月期第3四半期 27,838百万円 (75.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	132.37	—
2023年12月期第3四半期	91.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	776,948	443,615	51.0
2023年12月期	802,035	446,132	49.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 396,391百万円 2023年12月期 400,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	25.00	25.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,234,000	5.0	54,500	29.9	59,000	29.6	36,500	21.0	180.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	220,282,860 株	2023年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年12月期3Q	21,401,372 株	2023年12月期	14,328,495 株
-------------	--------------	-----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期3Q	202,516,151 株	2023年12月期3Q	206,490,727 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、政府の賃金引上げ政策を背景に、雇用・所得環境の改善が進み、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当業界におきましては、物価上昇によりお客様の生活防衛意識が高まり、節約志向や低単価志向が強まる中で、糖類や油脂、包材等原材料価格の高止まりに加え、人件費や物流費等の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、人流回復やインバウンドの増加により売上の回復が続きパンやおにぎり等が好調に推移しましたが、人件費等のコストが上昇する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者を中心に付加価値を付けた製品開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進しました。

当第3四半期以降、昨年7月に実施したパン類の価格改定の効果が一巡することを見据えた製品施策・営業戦略として、本年1月から主力の「ダブルソフト」において新規技術を導入した抜本的な品質改善を実施し、リニューアル発売しました。「ダブルソフト」の売上は伸長し、お客様の好評を得たため、この技術を広く活用し、「スイートブレッド」や「超芳醇」、「モーニングスター」等のほか、パン類以外の饅頭、中華まん、ホットケーキ等にも活用し、売上の向上をはかりました。

また、当社グループは、科学的根拠をもった食品安全衛生管理体制の上に行う新型コロナウイルス感染防止対策を継続し製品の安定供給につとめるとともに、労働安全衛生管理体制の充実強化をはかり、従来の現場におけるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットを安全日誌により日次・週次・月次で管理する体制に加え、管理職が安全パトロールや安全教育を通じて現場の問題・課題を管理・監督する、2本立ての労働安全衛生管理体制を整備し、業績向上対策とともに、働く職場の安全に向け取り組んでまいりました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて、日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により、お客様のニーズを的確に把握して対応策を推進するなど日々の仕事の精度向上をはかるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した女性製品開発担当者による商品開発を推進し、業績向上をめざしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,195億93百万円(対前年同期比108.7%)、営業利益は387億85百万円(対前年同期比139.2%)、経常利益は412億96百万円(対前年同期比134.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は268億6百万円(対前年同期比142.1%)となりました。昨年7月に実施した価格改定の寄与や2極化・3極化戦略が奏功し、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンが好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

セグメント別の状況<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高866億79百万円、対前年同期比109.8%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、「スイートブレッド」、「モーニングスター」等の低価格食パンや主力製品のハーフサイズ食パンが伸長しました。また、本年1月に新規技術により品質を向上させた「ダブルソフト」が大きく伸長し、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高 3,461 億 32 百万円、対前年同期比 113.6%）

菓子パンは、「コッペパン」や「まるごとソーセージ」、「ミニスナックゴールド」等の主力菓子パンが伸長するとともに、「ドーナツステーション」や「ずっしり」シリーズ等の低価格製品が伸長しました。また、「薄皮たまごぱん」等の惣菜製品を新たにラインアップしたミニパンの薄皮シリーズが伸長するとともに、前第4四半期に新規連結した(株)YKベーキングカンパニーの売上寄与もあり、前年同期の売上を大きく上回りました。

③和菓子部門（売上高 550 億 6 百万円、対前年同期比 105.3%）

和菓子は、主力の串団子や饅頭が堅調に推移するとともに、7月に生地を向上させたホットケーキが伸長しました。さらに、主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」の伸長や低価格製品の「やまざき蒸しパン」シリーズの寄与もあり蒸しパンが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 1,122 億 67 百万円、対前年同期比 104.2%）

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキや「まるごとバナナ」が伸長するとともに、生地を品質向上やフィリングを増量した「イチゴスペシャル」等の「スペシャル」シリーズが好調に推移しました。さらに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 1,200 億 23 百万円、対前年同期比 103.2%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカを中心におにぎりやサンドイッチが伸長するとともに、大徳食品(株)において調理麺が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 1,327 億 33 百万円、対前年同期比 105.2%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ポテコ」等、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は8,528億43百万円（対前年同期比108.5%）、営業利益は371億50百万円（対前年同期比138.0%）となりました。

＜流通事業＞

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、デイリーホット商品や「ランチパック 大盛り」シリーズ等、女性製品開発担当者による魅力ある商品開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおいてデイリーホットの品質向上や収益改善などに取り組むとともに、店舗開発や店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組みました。この結果、当第3四半期は、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 560 億 1 百万円（対前年同期比 112.2%）、営業損失は 8 億 29 百万円（前年同期は 13 億 60 百万円の営業損失）となりました。

＜その他事業＞

その他事業につきましては、売上高は 107 億 49 百万円（対前年同期比 104.5%）、営業利益は 21 億 24 百万円（対前年同期比 111.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は 7,769 億 48 百万円で、前連結会計年度末に対して 250 億 87 百万円減少しました。流動資産は 2,910 億 48 百万円で、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して 237 億 39 百万円減少しました。固定資産は 4,858 億 99 百万円で、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に対して 13 億 48 百万円減少しました。負債合計は 3,333 億 32 百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済等により、前連結会計年度末に対して 225 億 70 百万円減少しました。純資産は 4,436 億 15 百万円で、利益剰余金の増加はありましたが、自己株式の取得等により、前連結会計年度末に対して 25 億 16 百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は 51.0%となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、物価高によりお客様の生活防衛意識が一段と高まり節約志向や低単価志向が続く中で、レーズンやカカオ豆、包材等の原材料価格の上昇に加え、人件費や物流費等の上昇が見込まれ、厳しい経営環境になるものと思われまます。

このような状況下にあります、当社グループは引き続き、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上をはかり、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理を充実強化して働く職場の安全にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

次期、当社を取り巻く経営環境は、人材確保を含めた人件費の大幅な負担増に加え、カカオ豆、包材等の原材料費や物流委託費の負担増が見込まれます。当社は、これらの状況を勘案し、2025年1月1日出荷分から、一部の食パン、菓子パン並びに和洋菓子製品の価格改定を計画しております。価格改定に際しましては、品質の向上とともに下支え製品を充実するなど、お客様のニーズに合わせた対応をはかり、慎重に準備を進めてまいります。なお、2024年7月31日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,937	139,058
受取手形	148	103
売掛金	134,965	103,350
商品及び製品	13,750	16,697
仕掛品	728	1,193
原材料及び貯蔵品	15,203	16,223
その他	15,396	14,771
貸倒引当金	△341	△349
流動資産合計	314,787	291,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	433,007	438,305
減価償却累計額	△318,729	△323,831
建物及び構築物（純額）	114,277	114,474
機械装置及び運搬具	581,140	590,734
減価償却累計額	△492,160	△502,220
機械装置及び運搬具（純額）	88,980	88,514
工具、器具及び備品	43,677	44,987
減価償却累計額	△35,068	△36,281
工具、器具及び備品（純額）	8,609	8,705
土地	124,291	125,255
リース資産	21,469	24,204
減価償却累計額	△14,081	△15,852
リース資産（純額）	7,387	8,352
建設仮勘定	4,040	6,116
有形固定資産合計	347,586	351,418
無形固定資産		
のれん	9,052	8,206
その他	12,365	12,194
無形固定資産合計	21,417	20,401
投資その他の資産		
投資有価証券	80,580	77,407
長期貸付金	1,218	1,133
退職給付に係る資産	649	658
繰延税金資産	9,621	9,051
その他	28,574	28,143
貸倒引当金	△2,401	△2,315
投資その他の資産合計	118,242	114,079
固定資産合計	487,247	485,899
資産合計	802,035	776,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,239	81,552
短期借入金	55,608	55,130
リース債務	3,551	4,058
未払法人税等	11,576	7,268
未払費用	41,541	36,020
賞与引当金	5,793	15,447
店舗閉鎖損失引当金	48	52
資産除去債務	21	27
その他	50,495	42,444
流動負債合計	257,877	242,002
固定負債		
長期借入金	16,690	10,891
リース債務	4,282	4,529
役員退職慰労引当金	5,113	5,737
退職給付に係る負債	58,293	56,762
資産除去債務	4,813	4,864
その他	8,831	8,545
固定負債合計	98,025	91,330
負債合計	355,902	333,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	343,395	365,052
自己株式	△26,185	△51,852
株主資本合計	337,856	333,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,112	35,046
繰延ヘッジ損益	—	△3
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	6,494	8,612
退職給付に係る調整累計額	19,575	18,789
その他の包括利益累計額合計	62,281	62,544
非支配株主持分	45,994	47,224
純資産合計	446,132	443,615
負債純資産合計	802,035	776,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	846,225	919,593
売上原価	573,265	617,099
売上総利益	272,959	302,493
販売費及び一般管理費	245,090	263,708
営業利益	27,868	38,785
営業外収益		
受取利息	198	340
受取配当金	804	961
固定資産賃貸収入	741	776
持分法による投資利益	557	720
為替差益	916	41
雑収入	902	904
営業外収益合計	4,119	3,745
営業外費用		
支払利息	544	636
固定資産賃貸費用	230	197
災害による損失	126	149
雑損失	260	250
営業外費用合計	1,161	1,234
経常利益	30,826	41,296
特別利益		
固定資産売却益	99	165
投資有価証券売却益	20	1,418
関係会社株式売却益	76	300
その他	87	157
特別利益合計	282	2,042
特別損失		
固定資産除売却損	863	1,167
減損損失	293	192
その他	305	167
特別損失合計	1,462	1,526
税金等調整前四半期純利益	29,647	41,812
法人税等	10,077	13,642
四半期純利益	19,569	28,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	701	1,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,868	26,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	19,569	28,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,801	△1,070
為替換算調整勘定	682	2,710
退職給付に係る調整額	△254	△861
持分法適用会社に対する持分相当額	39	44
その他の包括利益合計	8,269	821
四半期包括利益	27,838	28,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,356	27,068
非支配株主に係る四半期包括利益	1,482	1,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	78,948	—	—	78,948	—	78,948
菓子パン	304,582	—	—	304,582	—	304,582
和菓子	52,253	—	—	52,253	—	52,253
洋菓子	107,711	—	—	107,711	—	107,711
調理パン・米飯類	116,357	—	—	116,357	—	116,357
製菓・米菓・その他商品類	126,185	—	—	126,185	—	126,185
その他	—	49,905	10,137	60,043	—	60,043
顧客との契約から生じる収益	786,038	49,905	10,137	846,081	—	846,081
その他の収益	—	—	144	144	—	144
外部顧客への売上高	786,038	49,905	10,281	846,225	—	846,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,911	7,263	28,986	45,161	△45,161	—
計	794,949	57,169	39,267	891,386	△45,161	846,225
セグメント利益又は損失(△)	26,919	△1,360	1,910	27,468	400	27,868

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額400百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	86,679	—	—	86,679	—	86,679
菓子パン	346,132	—	—	346,132	—	346,132
和菓子	55,006	—	—	55,006	—	55,006
洋菓子	112,267	—	—	112,267	—	112,267
調理パン・米飯類	120,023	—	—	120,023	—	120,023
製菓・米菓・その他商品類	132,733	—	—	132,733	—	132,733
その他	—	56,001	10,593	66,594	—	66,594
顧客との契約から生じる収益	852,843	56,001	10,593	919,437	—	919,437
その他の収益	—	—	155	155	—	155
外部顧客への売上高	852,843	56,001	10,749	919,593	—	919,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,842	7,201	31,851	49,895	△49,895	—
計	863,685	63,202	42,601	969,488	△49,895	919,593
セグメント利益又は損失(△)	37,150	△829	2,124	38,444	340	38,785

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額340百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,372,500株の取得を行っております。また、2024年7月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,700,000株の取得を行っております。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が25,666百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が51,852百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	29,318百万円	30,581百万円
のれんの償却額	1,230百万円	1,265百万円

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	78,948	9.3%	86,679	9.4%	7,730	109.8%
	菓 子 パ ン	304,582	36.0	346,132	37.6	41,549	113.6
	和 菓 子	52,253	6.2	55,006	6.0	2,753	105.3
	洋 菓 子	107,711	12.7	112,267	12.2	4,556	104.2
	調理パン・米飯類	116,357	13.8	120,023	13.1	3,665	103.2
	製菓・米菓・その他商品類	126,185	14.9	132,733	14.4	6,548	105.2
	食 品 事 業 計	786,038	92.9	852,843	92.7	66,804	108.5
流 通 事 業	49,905	5.9	56,001	6.1	6,095	112.2	
そ の 他 事 業	10,281	1.2	10,749	1.2	467	104.5	
合 計	846,225	100.0	919,593	100.0	73,367	108.7	

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	75,208	77,414	2,206	2.9%	△ 201	774	975	—%
(株)サンデリカ	77,570	79,731	2,161	2.8	1,212	2,128	915	75.6
ヤマザキビスケット(株)	23,081	25,333	2,252	9.8	580	1,992	1,412	243.3
(株)YKベーキングカンパニー	—	24,590	—	—	—	△ 112	—	—
(株)ヴィ・ド・フランス	21,001	21,664	662	3.2	134	664	530	395.3
(株)東ハト	19,793	21,588	1,795	9.1	1,139	1,318	179	15.7

(3) 2024年12月期第3四半期の単体業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	635,426	4.8	26,270	23.4	29,352	18.0	20,750	28.1
2023年12月期第3四半期	606,129	6.8	21,289	84.0	24,870	56.2	16,201	60.1

②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2024年12月期第3四半期	540,907	312,078
2023年12月期	572,040	323,456

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品種別	前第3四半期 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)		当第3四半期 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	76,546	12.6%	80,084	12.6%	3,537	104.6%
菓子パン	277,607	45.8	291,949	45.9	14,342	105.2
和菓子	51,698	8.5	53,805	8.5	2,106	104.1
洋菓子	81,232	13.4	84,041	13.2	2,809	103.5
調理パン・米飯類	41,962	6.9	43,282	6.8	1,319	103.1
製菓・米菓・その他商品類	37,380	6.2	38,431	6.1	1,051	102.8
小計	566,427	93.4	591,594	93.1	25,166	104.4
デイリーヤマザキ事業	52,985	8.7	58,946	9.3	5,960	111.2
内部消去	△ 13,283	△ 2.1	△ 15,114	△ 2.4	△ 1,830	—
合計	606,129	100.0	635,426	100.0	29,297	104.8

(5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	2023年 第3四半期		2024年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	22,594	4.0	27,073	4.6	4,478	19.8
デイリーヤマザキ事業	△1,305	△ 2.5	△ 802	△ 1.4	502	—
合計	21,289	3.5	26,270	4.1	4,981	23.4

<山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳>

(単位: 百万円)

	2023年 第3四半期		2024年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	172,079	30.4	183,883	31.1	11,804	6.9	売上高の増加 11,364 原材料費の減少 2,880 製造労務費の増加 ▲ 1,990 製造経費の増加 ▲ 523 製造償却費の増加 ▲ 310 その他 383
販売費及び一般管理費	149,484	26.4	156,810	26.5	7,325	4.9	人件費の増加 ▲ 2,625 経費の増加 ▲ 4,290 償却費の増加 ▲ 410

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。